

必須手技の「キホン」を理解！

速攻解説・基本手技③

Dr. 畑の臨床メモ

胃管の挿入と 管理のコツ

京都医療センター 外科・感染制御部

畑 啓昭 著

厚生労働省「臨床研修の到達目標」
に準拠したシリーズ構成です

▶ 一覧表示



本コンテンツはハイブリッド版です。PDF だけでなくスマホ等でも読みやすいHTML 版も併せてご利用いただけます。

- ▶HTML 版のご利用に当たっては、PDF データダウンロード後に弊社よりメールにてお知らせするシリアルナンバーが必要です。
- ▶シリアルナンバー付きのメールはご購入から3 営業日以内にお送り致します。
- ▶弊社サイトでの無料会員登録後、シリアルナンバーを入力することでHTML 版をご利用いただけます。登録手続きの詳細は下記をご参照ください。

<https://www.jmedj.co.jp/page/resistration01/>

▶ 登録手続き解説

このコンテンツを読んで ワカルこと・デキルこと

- ▶ 胃管を安全に挿入・管理する基本がワカル・デキル
- ▶ 胃管を“しんどくない”ように挿入するコツがワカル・デキル
- ▶ 胃管の材質などの一歩進んだ知識がワカル

1. しんどくない胃管の入れ方

1. 胃管を入れる前の心構え

- ・吐いたものが肺に入ることがないように十分に注意しましょう。
- ・無理矢理押し込んで、鼻咽頭や食道を損傷したり、他臓器に迷入したりすることがないようにしましょう。
- ・できるだけ患者がしんどくないように挿入しましょう。
- ・指先に神経を集中させて、常にチューブにかかっている力を感じるようにしましょう。具体的には、胃管の先端がどこかに当たったな！ という感覚や、さらに抵抗感が増えて胃管がたわみそうだなあという感覚を指先で

感じましょう。また、うまく入らずに抜くときには、折れた胃管が伸びる感覚も感じられるようにしておきましょう。

2. 準備 (図1)

- ・ 目的に合った胃管を用意しましょう。
- ・ 減圧・排液用であれば、14～16Frのチューブを用意しましょう。
- ・ 胃管の“くせ”を伸ばしておきます。(先端のみJ型になっている“くせ”は、後出の図6①の場所を通過するときには有利なこともあります)
- ・ リドカインゼリー (アレルギーなど禁忌があれば、通常のゼリーを用意します)
- ・ シリンジ
- ・ 固定用テープ
- ・ 排液用バッグ
- ・ ガーグルベースン
- ・ ガーゼ (嘔吐した場合や、胃管固定のときに使用します)
- ・ 紙コップ、水、ストロー
- ・ 手袋
- ・ エプロン

- ・ シールド付きのマスク
- ・ 口腔内の吸引チューブ（意識レベルの悪い患者など）



図1 用意する物品

3. 姿勢をつくる



図2 ヘッドアップ



図3 端坐位



図4 寝た状態

- ・上半身を起こした姿勢（図2）か、端坐位（図3）にします。
- ・寝た状態（図4）で胃管を入れようとすると、ゴックンとしてもらう（嚥下動作）のも難しいことや、吐いたときに誤嚥するリスクが高くなるので避けましょう
- ・吐いたときのために、ガーグルベースンを準備しておきます。

4. 麻酔をする

- ・挿入するほうの鼻孔および咽頭に麻酔を行います。リドカインスプレーやゼリーを使用した研究がありますが¹⁾、ゼリーによる麻酔が個人的には効果的と考えています。



図5 カテーテルチップのシリンジでのゼリー注入

コツ／ポイント／注意点

・カテーテルチップのシリンジにリドカインゼリーを入れ、鼻孔からゆっくり注入します（図5）。苦い味がします。その後、患者に鼻から息を吸ってもらおうように言って、ゼリーを飲み込んでもらうようにします。

5. 胃管を入れる～ゴックンまで

・鼻梁のラインに平行に入れる間違いが多いので注意しましょう（図6、7）。鼻甲介に当たってしまいます。

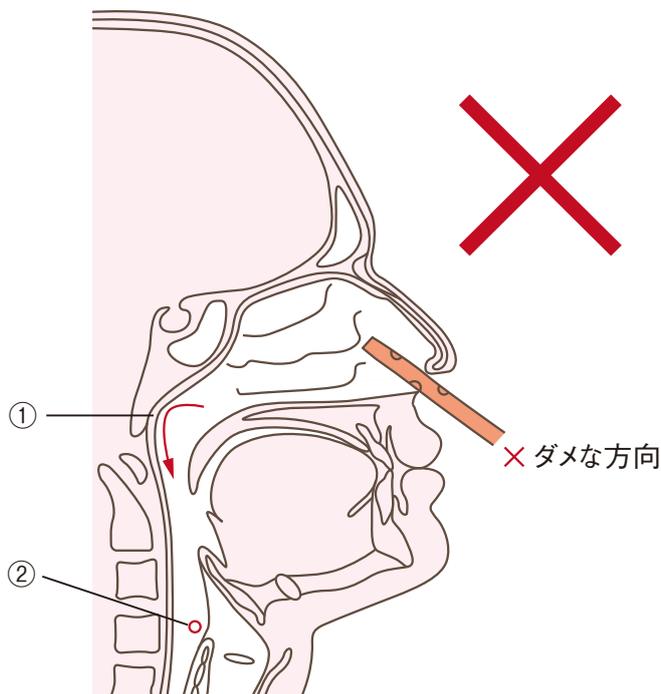


図6 鼻梁のラインに沿ったダメな方向（断面図）²⁾